

藤沢市立看護専門学校の学籍管理システム更新に係る情報提供依頼

(R F I : Request For Information)

実施要領

## 1 概要

### (1) 件名

藤沢市立看護専門学校（以下、「本校」という。）の学籍管理システムの更新に係る情報提供依頼

### (2) 目的

本校において、別々に管理運用している学生に関する学籍情報について情報の一元管理を行い、事務処理の迅速性と正確性を高めるとともに業務の効率化を図るため、学籍管理に関する新規システムへの更新を検討しています。

そこで、当該システムを取り扱う事業者様から、次期システムの仕様及び調達に必要な情報収集を目的として情報提供依頼を実施するものです。

### (3) システム更新の基本的な考え方

厚生労働省による看護基礎教育におけるカリキュラム改正等においても、柔軟な対応ができる標準機能を搭載した学籍管理に関するパッケージシステムをカスタマイズなしに導入します。

### (4) 本校の概要

藤沢市立看護専門学校（昭和46年4月開校）

学生数（3年制）：1学年定員50人

学科：看護学科

教員：14人

職員：4人

### (5) 調達範囲

調達範囲は、本実施要領「3 更新後のシステムについて」から「7 保守要件」を満たすハードウェア・ソフトウェアの納入及び、その設計・構築・移行・動作確認・運用・保守・ドキュメント作成（マニュアル・設計書・システム構成図）とします。

### (6) システム利用想定期間

システム導入開始（令和4年4月）から5年間とします。

## 2 現状について

### (1) 学籍情報の運用管理について

#### (ア) 独自システムによる管理

2004年（平成16年）度に本校において Excel のマクロファイルによるシステムを独自に開発し、学籍情報の一部を管理しているが、度重なるカリキュラム改正によりシステムの編集作業に難航している。本システムはノートPC3台、DVD-ROM3台、プリンタ1台で

運用している。

(イ) 庁内情報系端末による管理

エクセルファイルにより上記システムに関する基礎データや、その他の学籍情報を管理している。

(ウ) 紙資料による管理

紙ベースの資料等により学籍情報を管理している。

### 3 更新後のシステムについて

(1) システム形態

新規システムはオンプレミス型とし、これまで別々に管理していた情報について、以下の機器により一元的に管理する。

(2) 機器構成

使用する機器はノート PC 3 台，サーバ 1 台，プリンタ 1 台とする。

使用機種については、「4 機能要件」に関するコンピュータ処理を支障なく行うことができる機能を有するもので、将来的なデータ容量の増加に対応できるものとする。

機器等の仕様については、別紙 1「パソコン機器等仕様書」のとおり。

(3) データ容量

システム導入時は、150名（学年定員50名×3学年）のデータを登録して運用開始をし、新学年後ごとにデータを蓄積していく。

さらに、将来的には1回生から49回生（約2,450名）の卒業生に関する基本的な学籍情報についても登録できるDB容量のあるサーバを設置する。

(4) データ要件について

システムで管理するデータについては、様式 3「データ要件一覧表」のとおり。

(5) データの移行作業等について

導入の初年度においては、当市が用意したデータに基づきカリキュラム及び在学生に関する基本情報のデータを事業者側がセットアップする。

システム本稼働後、卒業生の情報に係る既存システムや紙資料からのデータ移行作業については本校関係者が行う。

新システムへデータを取り込むための、データフォーマットやデータ定義書、データ提供時期等について条件があれば提案書に記載すること。

データ取り込み及び取り込み確認試験にかかる費用については、見積書に記載すること。

(5) システム利用者数

システム管理者 2 名、システム利用者 1 4 名の計 1 6 名。

(6) サーバ設置予定場所

本校の教員室内にサーバラックを設置してサーバを運用管理する予定。サーバラックのサイズは W700×D600×H700mm、重量は 33kg。前扉及び側部背部に鍵を装備したものを予定している。(教員室は学生及び部外者の出入りを禁止しており、教員不在時は部屋の扉を施錠している。)

4 機能要件

システムに要求する機能は、様式 1 「機能要件一覧表」のとおり。

5 帳票要件

システムで出力する帳票は、様式 2 「帳票要件一覧表」のとおり。

6 セキュリティ要件

(1) アクセス制御

業務ソフトウェア及びサーバ機器へのアクセス制御ができること。

サーバ機器については、運用管理者の権限を設定できること。

業務ソフトウェアの権限は、利用者の職位及び機能ごとに設定できること。

(2) アクセス認証

システムの利用にあたっては、アクセス認証機能が設定できること。

(3) 不正接続制御

許可されていない端末等がサーバに接続できないよう防止対策ができること。

(4) 外部媒体保存制限

外部媒体への保存制限の対策ができること。

(6) セキュリティ対策ソフト

ウイルス対策ソフトは藤沢市が調達して、事業者が導入する。

資産管理ソフト (SKYSEA、LanScope Cat 等) は事業者側が調達及び導入する。

7 保守要件

(1) 機器またはシステムに障害が発生した場合、障害前の状態まで復旧できること。

(データについては毎日自動で外付け HDD 等の外部媒体にバックアップをとること。ハードディスクは RAID 構成を取る等して冗長化するこ

- と。またサーバには無停電電源装置を設置すること。)
- (2) パソコンについては、導入時の状態に復旧するためのリカバリメディア一式を受注時者が用意すること。
  - (3) 障害が発生した場合のサポート窓口として、電話・FAX・メールによる受付を平日 8:30 から 18:30 の時間帯で行うこと。(土曜日、日曜日、休日及び年末年始(12月29日から1月3日)は除外とする。)

#### 8 システム更新スケジュール (予定)

- (1) 情報提供依頼 (RFI)      2021年(令和3年) 8月～
- (2) 導入システム選定作業      2021年(令和3年) 10月～
- (3) システム導入              2022年(令和4年) 4月～

#### 9 情報提供の依頼内容

別紙「募集要項」のとおり、情報提供に係る資料の提出をお願いします。

以 上